

14 款 災害復旧費

事業概要

事務事業評価シート(令和2年度(2020年度)事業)

事務事業名	水路の復旧事業										事業類型	ハード事業					
担当部課	水循環部 水環境整備課																
基本計画	編	6	章	3	施策番号	47	健全な水循環の再生				まち・ひと・しごと 創生総合戦略		—	—			
予算科目	会計		一般会計			款	14	災害復旧費		項	01	災害復旧費		目	01	土木施設災害復旧費	
根拠法令等	八王子市水循環計画																
事業目的 (最終的に目指す状態)	令和元年（2019年）10月の台風19号により被災した雨水排水施設について、早急に復旧を行うとともに、二次災害を未然に防止し、市民生活の安全を図る。																

行政コスト計算書

(単位 千円)

勘定科目		30年度	元年度(a)	2年度(b)	対前年度(b-a)	勘定科目		30年度	元年度(a)	2年度(b)	対前年度(b-a)
経常費用	人件費	職員給与費	—	17,933	16,657	△ 1,276	経常収入	保険料	—	0	0
		賞与・退職手当引当金繰入額	—	18,141	2,021	△ 16,121		国庫支出金	—	0	0
		その他	—	0	0	0		都支出金	—	0	0
		小計	—	36,074	18,677	△ 17,396		分担金及び負担金	—	0	0
	物件費等	物件費	—	0	0	0		使用料及び手数料	—	0	0
		維持補修費	—	0	0	0		繰入金	—	0	0
		減価償却費	—	78	968	890		その他	—	0	0
		その他	—	0	0	0		小計	—	0	0
		小計	—	78	968	890	経常収支差額（A）	—	△ 36,152	△ 19,657	16,495
	その他の業務費用	支払利息	—	0	11	11	特別費用	—	148,577	278,673	130,096
		徴収不能引当金繰入額	—	0	0	0	特別収入	—	23,382	0	△ 23,382
		その他	—	0	0	0	特別収支差額（B）	—	△ 125,195	△ 278,673	△ 153,478
		小計	—	0	11	11					
	小計		—	36,152	19,657	△ 16,495	本年度収支差額 （A）+（B）=（C）	—	△ 161,347	△ 298,330	△ 136,983
	移転費用		—	0	0	0					
	小計		—	36,152	19,657	△ 16,495					

2年度	経 常 費 用					経 常 収 入				
主な内訳	—					—				

事業の人員体制(会計年度任用職員を除く)

30年度	元年度(a)	2年度(b)	対前年度(b-a)
—	2.48人	2.33人	△ 0.15人

指標と単位当たりコスト

	指標名	単位	30年度	元年度(a)	2年度(b)	対前年度(b-a)	指標値の増減要因
①	その他	人件費比率	%	—	99.8	95.0	△4.8
②	活動指標	整備件数	件	—	54	82	28
		単位当たりコスト	円/件		669,478	239,717	△ 429,761
③							令和元年度が年度途中からの事業であったため。
		単位当たりコスト	円/				
④							
		単位当たりコスト	円/				
⑤							
		単位当たりコスト	円/				

事業実績

2年度目標	令和元年（2019年）10月の台風19号により被災した雨水排水施設について、早急に復旧を行うとともに、二次災害を未然に防止し、市民生活の安全を図る。 復旧予定件数 76件 （水路の土砂等の堆積、護岸洗堀、破損等）	元年度末 時点の課題	令和元年台風19号で被災した水路等の復旧 同年度に54件ほどの復旧を行ったが、依然として復旧が完了していないため、令和2年度に繰越し復旧を継続して行う。 未復旧箇所 76件 （水路の土砂等の堆積、護岸洗堀、破損等） 復旧においては、隣地地権者や地域住民との調整が不可欠となる。
目標に対する 事業実績	水路の復旧件数 82件 主な復旧工事 初沢川護岸災害復旧工事 入山川護岸災害復旧工事 高月町1365番地先水路災害復旧工事	課題への対応	・復旧を進めるにあたり、新たな被害箇所が発覚したが、復旧の優先順位や、復旧方法を工夫することで予算を捻出し年度内に被災箇所の復旧を行った。 ・地域住民との合意形成や土地所有者との調整を密に行うことで円滑な工事および委託の発注を行った。
			解決
2年度評価	達成	次年度（4年度）以降の展開	廃止

今後の取組

3年度目標	水路の改良整備による治水対策の検討	2年度末 時点の課題	被災箇所について、復旧は完了したが、今後同様の災害を可能な限り減らすよう、既存事業（水路の改良整備）で治水対策について検討を行っていく。
3年度の取組	水路の改良整備で治水対策の検討を行っていく。	4年度の計画	—

事業概要

事務事業評価シート(令和2年度(2020年度)事業)

事務事業名	公園・緑地の復旧事業										事業類型	ハード事業					
担当部課	まちなみ整備部 公園課																
基本計画	編	4	章	1	施策番号	28	誰もが快適なまちづくり					まち・ひと・しごと 創生総合戦略		—	—		
予算科目	会計		一般会計			款	14	災害復旧費		項	01	災害復旧費		目	01	土木施設災害復旧費	
根拠法令等	—																
事業目的 (最終的に目指す状態)	台風等により被災した公園・緑地等の復旧工事を行い、原状回復を行う。																

行政コスト計算書

(単位 千円)

勘定科目		30年度	元年度(a)	2年度(b)	対前年度(b-a)	勘定科目		30年度	元年度(a)	2年度(b)	対前年度(b-a)
経常費用	人件費	職員給与費	0	3,399	3,360	△ 39	経常収入	保険料	0	0	0
		賞与・退職手当引当金繰入額	0	3,438	610	△ 2,828		国庫支出金	0	0	0
		その他	0	0	0	0		都支出金	0	0	0
		小計	0	6,837	3,970	△ 2,867		分担金及び負担金	0	0	0
	物件費等	物件費	0	0	0	0		使用料及び手数料	0	0	0
		維持補修費	0	0	0	0		繰入金	0	0	0
		減価償却費	2,333	7,076	98	△ 6,978		その他	56,174	0	0
		その他	0	0	0	0		小計	56,174	0	0
	小計		2,333	7,076	98	△ 6,978	経常収支差額（A）	53,840	△ 13,913	△ 4,070	9,842
	その他の業務費用	支払利息	0	0	2	2	特別費用	0	25,090	30,047	4,957
		徴収不能引当金繰入額	0	0	0	0	特別収入	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	特別収支差額（B）	0	△ 25,090	△ 30,047	△ 4,957
		小計	0	0	2	2	本年度収支差額 （A）+（B）=（C）	53,840	△ 39,003	△ 34,117	4,886
	小計		2,333	13,913	4,070	△ 9,842					
移転費用		0	0	0	0						
小計		2,333	13,913	4,070	△ 9,842						

2年度	経 常 費 用	経 常 収 入
主な内訳	—	—

事業の人員体制(会計年度任用職員を除く)

30年度	元年度(a)	2年度(b)	対前年度(b-a)
0.00人	0.47人	0.47人	0.00人

指標と単位当たりコスト

	指標名	単位	30年度	元年度(a)	2年度(b)	対前年度(b-a)	指標値の増減要因
①	その他	人件費比率	%	0.0	49.1	97.5	48.4
②		単位当たりコスト	円/				
③		単位当たりコスト	円/				
④		単位当たりコスト	円/				
⑤		単位当たりコスト	円/				

事業実績

2年度目標	令和元年10月に発生した台風第19号により被災した公園・緑地のうち、令和元年度に復旧工事を行えなかった緑地の復旧を行う。	元年度末 時点の課題	・大和田緑地の法面復旧 ・滝山緑地の斜面復旧 ・城山手緑地の斜面復旧
目標に対する 事業実績	大和田緑地、滝山緑地、城山手緑地の法面・斜面復旧工事を行った。	課題への対応	計画通り執行した。
			解決
2年度評価	達成	次年度（4年度） 以降の展開	廃止

今後の取組

3年度目標	—	2年度末 時点の課題	—
3年度の取組	—	4年度の計画	—

事業概要

事務事業評価シート(令和2年度(2020年度)事業)

事務事業名	道路・橋りょうの復旧事業											事業類型	ハード事業					
担当部課	道路交通部 管理課・建設課・補修センター・路政課																	
基本計画	編		章		施策番号	－						まち・ひと・しごと 創生総合戦略		－	－			
予算科目	会計		一般会計			款	14	災害復旧費		項	01	災害復旧費			目	01	土木施設災害復旧費	
根拠法令等	道路法、道路構造令																	
事業目的 (最終的に目指す状態)	台風により被災した道路・橋りょうの復旧																	

行政コスト計算書

(単位 千円)

勘定科目		30年度	元年度(a)	2年度(b)	対前年度(b-a)	勘定科目		30年度	元年度(a)	2年度(b)	対前年度(b-a)		
経常費用	人件費	職員給与費	—	36,588	9,294	△ 27,295	経常収入	保険料	—	0	0	0	
		賞与・退職手当引当金繰入額	—	37,014	791	△ 36,223		国庫支出金	—	0	0	0	
		その他	—	0	0	0		都支出金	—	0	0	0	
		小計	—	73,602	10,085	△ 63,518		分担金及び負担金	—	0	0	0	
	物件費等	物件費	—	0	0	0			使用料及び手数料	—	0	0	0
		維持補修費	—	0	0	0			繰入金	—	0	0	0
		減価償却費	—	0	0	0			その他	—	0	24,803	24,803
		その他	—	0	0	0			小計	—	0	24,803	24,803
	小計		—	0	0	0		経常収支差額（A）		—	△ 73,602	14,701	88,303
	その他の業務費用	支払利息	—	0	17	17	特別費用		—	370,590	91,566	△ 279,023	
		徴収不能引当金繰入額	—	0	0	0	特別収入		—	51,404	0	△ 51,404	
		その他	—	0	0	0	特別収支差額（B）		—	△ 319,186	△ 91,566	227,619	
		小計	—	0	17	17	本年度収支差額 （A）+（B）=（C）		—	△ 392,788	△ 76,865	315,923	
	小計		—	73,602	10,102	△ 63,501							
	移転費用		—	0	0	0							
小計		—	73,602	10,102	△ 63,501								

2年度	経 常 費 用	経 常 収 入
主な内訳	—	—

事業の人員体制(会計年度任用職員を除く)

30年度	元年度(a)	2年度(b)	対前年度(b-a)
—	5.06人	1.30人	△ 3.76人

指標と単位当たりコスト

		指標名	単位	30年度	元年度(a)	2年度(b)	対前年度(b-a)	指標値の増減要因
①	その他	人件費比率	%	—	100.0	99.8	△0.2	
②		単位当たりコスト	円/					
③		単位当たりコスト	円/					
④		単位当たりコスト	円/					
⑤		単位当たりコスト	円/					

事業実績

2年度目標	3年度までかかる市道川口339号線と睦橋以外の復旧を完了する。	元年度末 時点の課題	台風により被災した道路・橋りょうの復旧を進めていく。
目標に対する 事業実績	市道川口339号線と睦橋以外の復旧を完了した。 市道川口339号線と睦橋は、3年度完了に向け、計画通り事業を進めた。	課題への対応	台風により被災した道路・橋りょうの復旧を進めた。
			解決
2年度評価	達成	次年度（4年度） 以降の展開	現状維持

今後の取組

3年度目標	市道川口339号線と睦橋の復旧を完了する。	2年度末 時点の課題	市道川口339号線と睦橋の復旧を進める。
3年度の取組	市道川口339号線は契約済。 睦橋は2年度に詳細設計を完了しているので、工事を行う。	4年度の計画	令和元年（2019年）台風19号被害の復旧工事は完了している。

事業概要

事務事業評価シート(令和2年度(2020年度)事業)

事務事業名	観光施設の復旧事業										事業類型	施設運営						
担当部課	産業振興部 観光課																	
基本計画	編	5	章	3	施策番号	41	にぎわいにつながる産業の振興					まち・ひと・しごと 創生総合戦略		—	—			
予算科目	会計		一般会計			款	14	災害復旧費		項	01	災害復旧費			目	04	商工施設災害復旧費	
根拠法令等	八王子市タヤけ小やけふれあいの里条例																	
施設名称	タヤけ小やけふれあいの里																	
施設の 設置目的	自然に親しむレクリエーションの活動を行う場を提供することにより、農林業など地域の振興を図るとともに、市民の余暇活動の充実に資することを目的とする。																	
施設運営形態	指定管理者により運用している施設																	
利用料金収入 (千円)	30年度		元年度(a)		2年度(b)		対前年度(b-a)											
	33,157		30,998		18,140		△ 12,858											

行政コスト計算書

(単位 千円)

勘定科目		30年度	元年度(a)	2年度(b)	対前年度(b-a)	勘定科目		30年度	元年度(a)	2年度(b)	対前年度(b-a)	
経常費用	人件費	職員給与費	—	1,302	500	△ 801	経常収入	保険料	—	0	0	0
		賞与・退職手当引当金繰入額	—	1,317	43	△ 1,274		国庫支出金	—	0	0	0
		その他	—	0	0	0		都支出金	—	0	0	0
		小計	—	2,618	543	△ 2,075		分担金及び負担金	—	0	0	0
	物件費等	物件費	—	0	0	0		使用料及び手数料	—	0	0	0
		維持補修費	—	0	0	0		繰入金	—	0	0	0
		減価償却費	—	12	0	△ 12		その他	—	0	687	687
		その他	—	0	0	0		小計	—	0	687	687
	その他の業務費用	支払利息	—	0	0	0	経常収支差額（A）	—	△ 2,630	144	2,774	
		徴収不能引当金繰入額	—	0	0	0	特別費用	—	11,482	2,501	△ 8,981	
		その他	—	0	0	0	特別収入	—	6,678	1,250	△ 5,428	
		小計	—	0	0	0	特別収支差額（B）	—	△ 4,804	△ 1,251	3,553	
	小計		—	2,630	543	△ 2,087	本年度収支差額（A）+（B）=（C）	—	△ 7,434	△ 1,107	6,327	
	移転費用		—	0	0	0						
	小計		—	2,630	543	△ 2,087						
	2年度		経 常 費 用					経 常 収 入				
主な内訳		揚水ポンプ設備復旧工事【2,501千円】					東京都被災観光施設復旧整備補助金【1,250千円】					

事業の人員体制(会計年度任用職員を除く)

30年度	元年度(a)	2年度(b)	対前年度(b-a)
—	0.18人	0.07人	△ 0.11人

指標と単位当たりコスト

		指標名	単位	30年度	元年度(a)	2年度(b)	対前年度(b-a)	指標値の増減要因
①	その他	建物減価償却率	%	—	0.6	—	—	
②	その他	人件費比率	%	—	99.5	100.0	0.4	
③		単位当たりコスト	円/					
④		単位当たりコスト	円/					
⑤		単位当たりコスト	円/					
⑥		単位当たりコスト	円/					

貸借対照表

(単位 千円)

勘定科目						勘定科目					
		30年度末	元年度末 (a)	2年度末 (b)	対前年度(b-a)			30年度末	元年度末 (a)	2年度末 (b)	対前年度(b-a)
【資産の部】						【負債の部】					
固定資産	事業用資産	土地	—	0	0	固定負債	市債	—	1,000	2,200	1,200
		建物	—	2,129	0		退職手当引当金	—	1,203	469	△ 734
		建物減価償却累計額	—	△ 12	0		その他	—	0	0	0
		その他	—	0	0		小計	—	2,203	2,669	466
		小計	—	2,117	0	流動負債	市債	—	0	0	0
	インフラ資産	土地	—	0	0		未払費用	—	0	0	0
		建物	—	0	0		賞与等引当金	—	114	43	△ 71
		建物減価償却累計額	—	0	0		その他	—	0	0	0
		その他	—	0	0		小計	—	114	43	△ 71
		小計	—	0	0	負債合計					
	長期延滞債権					【純資産の部】					
	徴収不能引当金					固定資産等形成分		—	2,117	0	△ 2,117
	その他					余剰分 (不足分)		—	△ 2,317	△ 2,712	△ 395
	小計										
流動資産	現金	—	0	0	0						
	未収金	—	0	0	0						
	徴収不能引当金	—	0	0	0						
	その他	—	0	0	0						
	小計	—	0	0	0	純資産合計		—	△ 200	△ 2,712	△ 2,511
資産合計		—	2,117	0	△ 2,117	負債及び純資産合計		—	2,117	0	△ 2,117

2年度	土 地	建 物
主な内訳	—	—

事業実績

2年度目標	令和元年台風19号により破損した揚水ポンプの復旧を行い、安定した水の汲み上げによる園内イベントへの利用や豊かな生態系の形成につなげる	元年度末時点の課題	令和元年度から繰越している揚水ポンプの復旧を行う
目標に対する事業実績	復旧工事を完了し、園内イベントの充実や豊かな生態系の形成に寄与した	課題への対応	建築課との連携により、効率的な工事契約と施工管理が行われ揚水ポンプの復旧を完了した
			解決
2年度評価	達成	次年度（4年度）以降の展開	廃止

今後の取組

3年度目標	—	2年度末時点の課題	—
3年度の取組	—	4年度の計画	—